

文化功労者の表彰

熊谷市教育委員会表彰規程に基づき、熊谷市文化功労者の表彰式が大里生涯学習センター「あすねっと」で行われました。文化功労者は、岡田辰男氏、森田美江氏、吉田嘉高氏です。
また、教育関係職員25人も表彰されました。 ◆社会教育課 内線394



おかだ 辰男氏

(87歳)箕輪

氏は、平成7年に公民館を活動拠点として、同志と共に大里歴史研究会を設立し、郷土史を中心とした研究を深め、その成果を会報や公民館主催の展示会等に発表するとともに、常に会の推進力となり、現在は会長として活躍しています。

平成15年には、旧大里町の後援を得て根岸友山・武香顕彰会を関係者と共に設立し、日頃の歴史学習の成果を生かして、平成18年には郷土の偉人の伝記である「根岸友山・武香の軌跡」を共同執筆し、出版しました。

また、平成19年から、熊谷市教育委員会発行の「文芸熊谷」の編集委員として、平成20年からは、熊谷市伝統芸能今昔物語の開催実行委員として尽力するとともに、平成24年には、くまがや古文書学習・研究会会長に就任し、精力的に取り組んでいます。

さらに、大里文化団体連絡会代表として、大局の見地から一貫して合併に協力し、新熊谷市文化連合の設立に貢献しました。

このように、郷土史の研究に情熱を注ぎ、その成果を生かして、地域における伝統文化の保存継承や文化財の保護に大きく貢献した功績は誠に顕著であります。



もり た 美江氏

(75歳)善ヶ島

氏は、昭和35年から平成25年まで、50有余年の長きにわたり一貫して学校教育に携わり、教職にある間は、主に旧妻沼町の教育力向上に取り組みました。

特に秦小学校校長として、「たくましい心豊かな秦っ子」の育成に努め、ボランティアバンクの創設等、地域の教育力を生かした学校経営を行うとともに、太田小学校校長としては、地域に根ざした学校づくりを更に積極的に進め、子ども110番の家の創設、1日学校開放、祖父母参観、地域の自然や施設を生かした体験活動等を実践し、地域と一体となった教育活動を推進しました。

また、平成11年には、埼玉県公立小中学校女性校長会会長として、県内の教育の活性化にも貢献しています。

さらに、平成13年からは、旧妻沼町教育委員として、また平成15年には、教育長に就任し、町の教育行政を担うとともに、平成17年の1市2町の合併に力を尽くしました。合併後は、豊富な経験を生かし、平成19年から平成25年まで、熊谷市教育委員として活躍し、この間、委員長職務代理者、委員長を歴任しています。

このように、旧妻沼町、合併後の熊谷市の教育の発展及び充実に大きく貢献した功績は誠に顕著であります。



よしだ 嘉高氏

(77歳)箱田

氏は、昭和40年に熊谷市ラグビーフットボール協会理事、昭和50年には同協会の理事長に就任し、熊谷市総合体育大会や熊谷ラグビー祭り等、老若男女が親しめる各種大会や講習会を開催するなど、ラグビーフットボールの普及を通して、健康で明るい市民生活の向上に寄与しています。

熊谷市が開催地となった昭和42年の埼玉国体のラグビーフットボール競技では、その運営に尽力するとともに、ラグビーフットボールを通じて、市民のスポーツへの関心を大いに高めました。

また、熊谷ラグビースクールの第2代校長として、子供たちの体力向上と健全育成に努め、現在は、幼児から児童生徒、保護者まで巻き込んだ活動を展開し、県内最大級の教室にまで成長させるなど、ラグビータウン熊谷の一体感を醸成するに至っています。

さらに、昭和61年には、埼玉県ラグビーフットボール協会理事長に就任し、競技力の向上や底辺の拡大とともに、現在の県営スポーツ文化公園ラグビー場の誘致に先頭に立って尽力しました。

このように、ラグビーフットボールを中心としたスポーツ全般の発展、スポーツを通しての活力ある街づくりに大きく貢献した功績は誠に顕著であります。